

TOPPAN HALL

2023/24 SEASON



リート  
〈歌曲の森〉～詩と音楽 Gedichte und Musik～ 第29篇/第30篇

Christoph Prégardien <sup>tenor</sup>  
Michael Gees <sup>piano</sup>

クリストフ・プレガルディエン × ミハエル・ゲース

Christoph Prégardien



Michael Gees



## 生まれ、さすらい、そして消えゆく ―― 歌に託された命のドラマを濃密に描き出す、円熟のデュオの集大成！

20世紀のドイツリートを牽引したハンス・ホッター、フィッシャー=ディースカウ、ヘルマン・プライら名歌手達が相次いで引退した後、クリストフ・プレガルティエンとその共演者たちが、孤軍奮闘してその空隙を埋め、長い努力の末、ついには近年の「リート再発見」の潮流へと導いた。トッパンホールも2008年からシリーズ〈歌曲の森〉を開始し、2世紀近くも前に書かれた「詩」と「音楽」の融合が生み出す力の大きさを現代に蘇らせようと尽力した。今回30篇を数えるに至った本シリーズにはこれまで10人近い歌手が出演しているが、プレガルティエン&ゲースがその中核にどっしりと座っている。シリーズの立脚点のような役割を彼らに担ってもらっているとんでもない。

2022/23シーズンの開幕を飾ったシューベルト〈三大歌曲〉を経て、いまプレガルティエン&ゲースがトッパンホールで歌いたいと願ったプログラム、それを今回は2夜にわたってお届けする。

「このホールのお客さまは、世界でもっともリート音楽を知り、深く愛してくれる聴衆だよ。たとえ日常でドイツ語は話さなくてもね」と日頃から話す彼らの信頼が、今回のプログラムを選ばせた。いま最も歌いたい歌、一緒に共有したい想いがいっぱい詰め込まれた渾身の、そして最愛のプログラムだ。

第1夜は、すべてシューベルト作品による“Lieder von Abschied und Reise”―別れそして旅立ち、第2夜は9人の作曲家による“Zwischen Leben und Tod”―生と死のはざま。前者はいまから遡ること約10年前、2014年2月にトッパンホールで歌ったプログラムと同一内容だが、彼らには、この10年での変化と深化を聴かせる自信がある。かつてプレガルティエンは、朝日新聞でのインタビューに際し、「ちょっと大袈裟に言うなら、ゲースと一緒にいたら、100回歌ったら100通りの解釈で表現できる位の可能性がある」と語っていたが、まさに今回はその言葉を体現するステージとなるだろう。

日頃トッパンホールで世界一流の演奏家のリハーサルをつぶさに見て感じる世界のトップとその他のアーティストの一番の差は、「リハーサルの正確な再現をめざす」か「細部までありとあらゆるリハーサルを繰り返したのち、本番ではまっさらになってその場で新たに共演者と音楽を一から産みだす」かの違いにあると思っているが、先ほどのプレガルティエンの発言は、まさにそれを裏づけていると言えよう。

円熟の極みにありながら、いつまでも新鮮さと瑞々しさを湛え、更なる高みをめざす奇跡のリート・デュオ、プレガルティエン&ゲースの真髓、その“心の歌”をお聴き逃しなく。

プログラミング・ディレクター 西巻正史

## 第1夜

フランツ・シューベルト Franz Schubert

逢瀬と別れ D767 Willkommen und Abschied D767

星 D939 Die Sterne D939

夜の曲 D672 Nachtstück D672

弔いの鐘 D871 Das Zügelglöcklein D871

さすらい人 D489 Der Wanderer D489

さすらい人の夜の歌I 〈汝、天より来たりし者〉 D224 Wanders Nachtlied I ‘Der du von dem Himmel bist’ D224

ヴィルデマン山地を越えて D884 Über Wildemann D884

精霊の踊り D116 Der Geistertanz D116

魔王 D328 Erlkönig D328

さすらい人の夜の歌II 〈山々に憩いあり〉 D768 Wanders Nachtlied II ‘Über allen Gipfeln ist Ruh’ D768

あこがれ D879 Sehnsucht D879

ミューズの息子 D764 Der Musensohn D764



ブルックの丘にて D853 Auf der Bruck D853

夕映えの中で D799 Im Abendrot D799

休みなき愛 D138 Rastlose Liebe D138

とらわれの狩人の歌 D843 Lied des gefangenen Jägers D843

豎琴弾きの歌より Gesänge des Harfners aus “Wilhelm Meister” Nr.3

〈われ戸口にしのび行かん〉 D479 ‘An die Türen will ich schleichen’ D479

さすらい人 D649 Der Wanderer D649

さすらい人の月に寄せる歌 D870 Der Wanderer an den Mond D870

孤独な人 D800 Der Einsame D800

船乗り D536 Der Schiffer D536

御者クロノスに D369 An Schwager Kronos D369

《白鳥の歌》より〈影法師〉 D957-13 ‘Der Doppelgänger’ aus “Schwanengesang” D957-13

夜と夢 D827 Nacht und Träume D827

## 第2夜

J.S.バッハ: 甘き死よ、来たれ BWV478 J.S.Bach: Komm, süßer Tod BWV478

マーラー: 〈子供の不思議な角笛〉より〈原光〉 Mahler: ‘Urlicht’ aus “Des Knaben Wunderhorn”

シューベルト: 白鳥の歌 D744 Schubert: Schwanengesang D744

シューマン: 《12の詩》より Schumann: ‘Stirb, Lieb’ und Freud!’

〈愛と喜びよ、消え去れ〉 Op.35-2 aus “Zwölf Gedichte” Op.35-2

シューベルト: 消滅 D807 Schubert: Auflösung D807

モーツァルト: ラウラに寄せる夕べの想い K523 Mozart: Abendempfindung an Laura K523

ブラームス: 《6つのリート》より Brahms: ‘Feldeinsamkeit’

〈野の寂しさ〉 Op.86-2 aus “Sechs Lieder für eine tiefere Stimme” Op.86-2

ブラームス: Brahms:

《ブラーテンとダウマーによるリートと歌》より ‘Wie rafft’ ich mich auf in der Nacht’

〈夜更けて、私は起き上がり〉 Op.32-1 aus “Lieder und Gesänge von A.v.Platen und G.F.Daumer” Op.32-1

レーヴェ: 《3つのバラード》より〈エドヴァルト〉 Op.1-1 Loewe: ‘Edward’ aus “Drei Balladen” Op.1-1



ヴォルフ: 《メーリケ詩集》より Wolf: ‘Denk’ es, o Seele’

〈それを思え、お魂よ〉 aus “Gedichte von Eduard Mörike”

シューベルト: 若者と死 D545 Schubert: Der Jüngling und der Tod D545

シューベルト: 死と乙女 D531 Schubert: Der Tod und das Mädchen D531

ヴォルフ: 《ゲーテ歌曲集》より〈アナクレオンの墓〉 Wolf: ‘Anakreons Grab’ aus “Gedichte von Goethe”

ヴォルフ: 《アイヒェンドルフ歌曲集》より〈セレナード〉 Wolf: ‘Das Ständchen’ aus “Gedichte von J.von Eichendorff”

メンデルスゾーン: 《6つの歌》より Mendelssohn: ‘Neue Liebe’

〈新しい恋〉 Op.19-4 aus “Sechs Lieder” Op.19-4

レーヴェ: 《3つのバラード》より〈魔王〉 Op.1-3 Loewe: ‘Erlkönig’ aus “Drei Balladen” Op.1-3

ヴォルフ: 《スペイン歌曲集》(世俗篇)より Wolf: ‘Dereinst, gedanke mein’

〈いつの日か、わが想いよ〉 aus “Spanisches Liederbuch, nach Heyse und Geibel (Weltlich)”

シューベルト: 《白鳥の歌》より〈兵士の予感〉 D957-2 Schubert: ‘Kriegers Ahnung’ aus “Schwanengesang” D957-2

マーラー: 〈子供の不思議な角笛〉より〈死んだ鼓手〉 Mahler: ‘Revelge’ aus “Des Knaben Wunderhorn”

第1夜

シューベルト・アーベント

Lieder von Abschied und Reise ―― 別れそして旅立ち

2024年5月22日(水) 19:00 開演  
Wednesday, 22 May 2024 19:00

第2夜

リーダー・アーベント

Zwischen Leben und Tod ―― 生と死のはざままで

2024年5月24日(金) 19:00 開演  
Friday, 24 May 2024 19:00

# Christoph Prégardien <sup>tenor</sup> Michael Gees <sup>piano</sup>

クリストフ・プレガルディエン × ミヒャエル・ゲース



## 〈歌曲の森〉2公演セット券

限定数販売 クラブ同時入会可 全席指定

料金  
トッパンホールクラブゴールド会員 9,880円  
通常価格  
13,000円のところ  
トッパンホールクラブレギュラー会員／一般 11,180円

発売 1月31日(水)[会員:1月27日(土)]

## 単券

全席指定

日時  
第1夜 2024年5月22日(水) 19:00  
第2夜 2024年5月24日(金) 19:00

料金  
一般:6,500円  
U-25:3,000円

発売 2月7日(水)[会員:2月3日(土)]

主催: トッパンホール

特別協賛: 竹中工務店

協賛: artience株式会社 / 東京書籍株式会社 / 図書印刷株式会社 / TOPPANエッジ株式会社

トッパンホールWEBチケット [www.toppanhall.com](http://www.toppanhall.com)

トッパンホールチケットセンター 03-5840-2222

チケットぴあ [t.pia.jp](http://t.pia.jp) [Pコード 5/22公演 258-626 5/24公演 258-627]

イープラス [eplus.jp](http://eplus.jp)

ローソンチケット [l-tike.com](http://l-tike.com) [Lコード 5/22公演 32815 5/24公演 33028]

会員優待割引およびセット券は、「トッパンホールWEBチケット」「トッパンホールチケットセンター」でお申し込み頂けます。  
\*U-25券(席の限定有)は、トッパンホールチケットセンターで販売いたします。\*未就学児のご入場はお断りいたします。  
\*託児サービス【要予約・有料】:公演日1週間前までにイベント託児・マザーズ 0120-788-222 [10:00~12:00, 13:00~17:00(土日祝休み)]へお申し込みください。

※やむをえず、曲目・出演者などに変更がある場合がございます。あらかじめご了承ください。

※開場は開演の30分前となります。

### 交通のご案内

江戸川橋駅 地下鉄有楽町線(4番出口)より徒歩約8分

飯田橋駅 JR総武線(東口)、地下鉄有楽町線、東西線、南北線、大江戸線(B1出口)より徒歩約13分

後楽園駅 地下鉄丸の内線、南北線(1番出口)より徒歩約10分

都営バス [上69] [飯64]「大曲」または「東五軒町」下車徒歩約3分

※地下駐車場をご利用いただけます。(ホールご来場者割引あり)



人と自然をつなぐ、伝統と革新をつなぐ。

想いをかたちに 未来へつなぐ

TAKENAKA

竹中工道具館(兵庫県神戸市)  
設計施工: 竹中工務店

株式会社 竹中工務店 本社: 〒541-0053 大阪市中央区本町4-1-13 Tel.06-6252-1201 / 東京本店: 〒136-0075 東京都江東区新砂1-1-1 Tel.03-6810-5000

トッパンホール 〒112-0005 東京都文京区水道1-3-3 Tel:03-5840-2200 Fax:03-5840-1515  
[www.toppanhall.com](http://www.toppanhall.com)

表(ステージ)写真、中面写真©Michiharu Okubo  
当チラシに掲載している写真について、許可なく複製あるいは転用することを固く禁じます。 ©TOPPAN HALL 2024.1 K 1